

町民と議会をむすぶ

町議会 だより

【3月定例会】

施政方針及び議案審議 …… 2～3

委員会審議

総務厚生常任委員会 …… 4～5

文教経済常任委員会 …… 6～7

一般質問 5人が登壇 …… 8～11

 池田町

VOL. 29

令和6年5月1日発行

池田町にあるスポーツクラブ5つのうちの1つ、クライミングは岩場を冒険しているようなワクワク感が味わえるスポーツです。立ちどころ課題を解決しながら自分の限界に挑戦することができます。

全身を使ってバランスをとり、高い所まで登る爽快感は格別。年齢や性別を問わず、誰でも楽しめるアクティビティです。競技力を目指す人ももちろん、体力向上の一環として皆さん取り組んでいます。新しい挑戦を求めるならクライミングは最適です！

3月定例会

(令和6年3月13日～21日開催)

3月定例会が3月13日から21日の9日間にわたり開催され、令和5年度一般会計及び各特別会計、令和6年度一般会計及び各特別会計をはじめ、各条例の一部改正や、人権擁護委員の推薦、教育委員会教育長の任命など議案、計28議案が提出され、全議案可決されました。

議案第4号	令和5年度 池田町一般会計補正予算(第12号)	議案第4号から議案第10号までは、令和5年度補正予算として、1億3,539万円を減額補正
議案第5号	令和5年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第6号)	
議案第6号	令和5年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第5号)	
議案第7号	令和5年度 池田町簡易水道特別会計補正予算(第4号)	
議案第8号	令和5年度 池田町下水道事業特別会計補正予算(第5号)	
議案第9号	令和5年度 池田町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	議案第12号から議案第17号までは、医療福祉等の充実として特別会計総額6億5,740万円を予算化
議案第10号	令和5年度 池田町介護保険特別会計補正予算(第4号)	
議案第11号	令和6年度 池田町一般会計予算 …総額39億5,300万円	
議案第12号	令和6年度 池田町国民健康保険特別会計予算	
議案第13号	令和6年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計予算	
議案第14号	令和6年度 池田町介護保険特別会計予算	
議案第15号	令和6年度 池田町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第16号	令和6年度 池田町簡易水道事業会計予算…収入4億1,914万円 支出4億3,758万円	
議案第17号	令和6年度 池田町下水道事業会計予算…収入4億2,170万円 支出4億1,429万円	
議案第18号	池田町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部改正について	
議案第19号	池田町母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について	議案第18号から議案第26号までは、各法令などに準じた条例を改正
議案第20号	池田町介護保険条例の一部改正について	
議案第21号	池田町簡易水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	
議案第22号	池田町わんぱく冒険の森の設置及び管理に関する条例の一部改正について	
議案第23号	公の施設の指定管理者の指定について	
議案第24号	公の施設の指定管理者の指定の期間の変更について	
議案第25号	町道路線の認定について	議案第26号から議案第27号までは、各法令などに準じた条例を改正
議案第26号	池田町指定地域密着型サービスの事業の人員、設置及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	
議案第27号	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて平井 浩一氏(越前市)の任命に同意	
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて宮本 宏司氏(魚見)の推薦に同意	議案第28号から議案第29号までは、各法令などに準じた条例を改正
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて和田 幸子氏(常安)の推薦に同意	
発議第1号	池田町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	議案第30号から議案第31号までは、各法令などに準じた条例を改正
発議第2号	池田町議会常任委員会及び特別委員会条例の一部改正について	

■ 議案第11号、20号は、宇野邦弘議員が反対

1月臨時会

(令和6年1月23日開催)

1月臨時会が、1月23日に開催され、令和5年度一般会計補正予算、特別会計、条例改正の3議案を審議し、全議案可決されました。

議案第1号	令和5年度 池田町一般会計補正予算(第11号) …能登半島地震被災地への災害義援金および町独自の家計応援事業に関する費用として、2,807万円を追加補正
議案第2号	令和5年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第5号) …住民税の修正申告により過年度に納付された国民健康保険税が減額となった加入者に対し、過誤納分を還付するため、償還金8万円を追加補正
議案第3号	池田町簡易水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の制定について …簡易水道事業および下水道事業において地方公営企業法の財務規定等を適用するため、新たに条例を制定

町長施政方針及び諸事の報告

令和6年 3月定例会

「能登半島地震犠牲者の方々へのお悔やみとお見舞」

町長より哀悼の言葉がありました。

「これまでとこれから」

池田町は、長く続く人口減少、過疎化対策を最重要課題として「住みたくなるまちづくり」をテーマに、社会インフラ整備、福祉、保健、医療の充実、農林業支援、観光交流、定住促進、子育てや教育支援に取り組んでまいりました。これらは町民の暮らしと命を守り、持続可能な町の基盤づくりとして取り組んできたものです。しかし、止まるに至らない人口減少、それに伴う諸問題は農林業振興、教育環境、産業の継承、さらには集落相互扶助機能など多岐にわたり危機が迫っています。

人口減少が避けられない中、これからの町づくり、町育てのビジョンは「不便はあっても、安心で不安のない小数社会を目指す」と考えております。

その実現のカギは「自助・公助・共助」の分担と連携であり、自助、自治の活動が無いところに共助は生まれませんとも考えています。平成9年3月の町総合振興計画には「まちづくりの基盤はかなり整備されてきた。今後はそれを舞台に町民がどのように活躍するか、活用するかという段階に入ったといえる」と記されています。これらのことから、自治、自助活動を育て、支援する施策が重要であると考えています。

令和6年度テーマ「つながる力を増すかに」

■ 社会や公共サービスのデジタル化への対応として上手な暮らしへの導入支援として「まちデジUPプロジェクト」の推進

※みんなにスマホ事業……75歳以上を対象に、新たにスマホを購入または買い替えの代金50%(5万円を上限)に一人1台、1回限りで補助を実施

※まちデジバンク事業……デジタル地域通貨、デジタル決済の取り組みと普及

※未来ポケット事業……脳ヘルプにおける健康マイレージ事業とポイントを寄付できる取り組みの構築

■ 子育て家庭への支援として、男性の育休促進や「とも家事」の促進

※「パパ育とも家事手当」: お子さんが満1歳を迎えるまで、月1万円の手当支給

■ 水田農業政策に関わる制度趣旨に基づく高度化と、池田米のブランド化に向けて

※「農業政策会議」: 農業の育成と強化を目的とした新たな組織の設置

■ 農村観光の推進

※4月より現在の一般財団法人池田屋を再生し、いけだ農村観光公社を発足し体制強化を図る。

■ 池田づくり、池田育ての基礎としての、地域自治、住民自治の支援

※集落や地域での将来ビジョンづくりとともに計画を実行するための支援として

「地域自治高度化戦略交付金」(仮称)の新設検討

主な事業

- 小中学校の修学旅行および校外授業の保護者負担実質無料化……………400万円
- 新庁舎・新図書公民館の、建設用木材の事前調達経費……………1億3,806万円
- 「みんなにスマホ事業」及び「スマホキャッチアップ事業」の実施経費……………155万円
- 再生可能エネルギー導入促進に向けた各種調査業務費……………4,138万円
- 若者の恋愛・結婚応援事業……………103万円
- パパ育とも家事手当のほか、ようこそ赤ちゃん事業、ママがんばる手当などに…1,022万円
- 「健康マイレージ事業」や、歩数に応じてデジタル地域通貨を付与する「こっ歩いんと事業」などの経費……………1,968万円
- 地元大径木の利活用事業などに……………3,126万円
- 一般財団法人池田屋を専門性の高い組織に再編、かずら橋の補修費などに…5,088万円
- 道のオアシスフォーシーズンテラスの施設管理費……………1,323万円

一
万
円
未
満
切
捨
て

総務厚生常任委員会審議

委員長 丸石純一
副委員長 清水龍司
委員 岡村 祐 富田重弘
松井靖明 宇野邦弘

庁舎・図書館 建設事業

宇野邦弘議員 庁舎設計業務委託料が880万円減は入札に関わっての減少か。
総務財政課長 基本設計、実施設計の予算であり、実際の契約した額との差額によるもの。

松井議員 基金費の中身は庁舎建設と教育文化施設から合わせて12億円を財源に充てるのか。
総務財政課長 その12億円を建設の際に使ったりその建設の時に起債するので、その起債の償還する時の財源に充てる。

丸石議員 基金は、今年、来年、再来年の予算において庁舎建設基金であったり教育文化施設基金について

は積み増しは考えてないのか。
総務財政課長 財源は12億円だが、令和6年度の予算の執行状況に応じて、余裕がでてくれば、さらに積んでいきたい。将来の負担をできるだけ削減できるような方向に持っていきたい。

バイオマスの熱供給 システム導入事業

清水議員 温水利用した場合、7度程度の冷水を作ることができるとのことだが、室内温度は何度ぐら

いを維持できるのか。
副町長 温度の設定は通常の冷房のエアコンと同じ気温に設定できる。また室内の断熱性を高くすることにより少ないエネルギーで冷房ができるため、快適な

気温を維持できる。
富田議員 バイオマスの冷暖房は、除湿効果はあるのか。
副町長 除湿効果はある。湿度については換気システムで適正な湿度になるような設備を予定している。

松井議員 バイオマス関連から、小水力の調査やCO₂の吸収量、排出量などの計画を作るといった専門性の高い業務を業者に委託する

とはいい総務財政課で対応できるのか。
副町長 総務財政課の中に環境政策室があるので、組織上は専門的体制になっている。随時環境専門人材の募集もしている。池田町の担当者に伴走してくれるという人を見つけてあるので、その人に依頼する予定。



▲水海小水力発電所(取水部)



▲水海小水力発電所の発電部(3月4日から発電開始)

ぐらいか。
副町長 耐用年数は15年から20年の計画。
富田議員 小水力の流量調査をする場所はどこか。
副町長 候補地は、足羽川、割谷川、水海川。これから一番条件のいいところを探すため、700万円の調査予算を計上し、業者にお願いする。

岡村議員 木質バイオマス施設について、町民からは依然として効率的や経済的な観点からネガティブな意見が多い。政策の本筋にある脱炭素や地元資源活用

の説明をしていかなければ理解を得られないのではないか。
副町長 参考にした。丸石議員 バイオマスボイラーの耐用年数は、どの

総務財政課関連

富田議員 防災費で612万円の減額理由は。
総務財政課長 去年は、防災無線システムの改修をした。システムの中でも取り替えないと他の機器との連携がうまく取れなくなるため、この改修をした。その金額を今年は減額している。

清水議員 システム改修において、更新費だけでこの費用はかなり高い。他に何かしら作業が必要になつてるとは思うが、内容を教えて欲しい。
総務財政課長 同報無線やLINEやHPなどの一斉配信関係の設定や、ブラウザ更新やサーバーの設定を変えたことにより750万円の経費がかかった。

宇野邦弘議員 自治体が自衛隊に18歳以上の名簿を提供するという全国的な動きが広がっているが、具体的には予算上どうなっているか。池田町は提供してい

るのか。やめるべき。
総務財政課長 自衛隊には高卒と大卒に当たる人の名簿を提出している。自衛官募集事務委託費を貰っている。

丸石議員 集落センターの改修費については、何度も使える為、使いやすいと思うが、同時に利用についての10年後などの将来計画やどのように活用するかなどの聞き取りが必要になつてくるのではないか。
副町長 10年後の集落をどうするかという話し合いは強制できないが、直すと同時に本当はそのように区

のあり方とともに、区の拠り所の場所のあり方も検討されるようになってほしい。
松井議員 新しく購入する町長の公用車は、どのような車種を検討しているのか。
総務財政課長 4WDのハリヤーを検討している。

丸石議員 町長の公用車に関連して、役場備品ということで、購入時の金額や

維持管理など規定はあるのか。
総務財政課長 決まりがあるわけではない。他の自治体とも比較しつつ見ている。

保健福祉課関連

丸石議員 土日等に子供を預かってもらえる里親制度に2件の登録があるということだが、池田町内か。
保健福祉課長 2件については、1人は町内の方、もう1人は町外のお子さんが預けやすい池田町から近い地域にお住まいの方。また、池田町内では今5名の方が里親の研修会に参加したいという意向を伺っている。

清水議員 人間ドックの助成について執行率が低かったのは行ける人が少ないということか。
保健福祉課長 人間ドックを受けられる方が少なかったのだが、周知不足や、池田町は県内で一番検診受



診率が高い町のため、人間ドックは、なかなか受けられる方が少ないという現状もっとPRをしていきたいと考えている。
松井議員 自治医大出身の医師の方は今年もいももらえるのか。どういった仕組みか。
保健福祉課長 引き続き勤務する。仕組みとしては、県の地域医療課が、県内医療機関からの派遣依頼を取りまとめ、自治医大卒の医師がその中から希望する医療機関を選択し勤務するものである。

まちデジタル事業(新)
清水議員 スマホ購入支援で、これは楽々スマホも購入できるのか。



総務財政課長 検証し、どのような機種がいいのか検討する。
宇野邦弘議員 みんなにスマホ事業で、マイナンバーカードは必須条件。マイナンバーカード取得や健康保険証・口座との紐付けになっている。これも条件にすることは、みんなにスマホ事業の精神から見てもどうなのか。
総務財政課長 実際の補助要項を作る時には見直しも必要と考えるが、マイナンバーカードの取得を進めている。やはりマイナンバーカードの取得や健康保険との連携が、デジタル化を進めていく上では重要だと認識している。

文教経済常任委員会審議

委員長 松井靖明
副委員長 富田重弘
委員 清水龍司 岡村 祐
宇野一正 佐野和彦

アプリパワーアップセンター

松井議員 アプリパワーアップセンターの697万円が繰り越されているのは、今まだ完成していないということか。

町土整備課長 建築工事は完成している。施設の修繕や一部施設修繕を発注。建築工事と現場のやり取りがあり繰り越しをお願いした。

獣害対策費

宇野一正議員 鳥獣対策費200万円減額になっているが原因は何か。

農村政策課長 雪が今年は非常に少なく山中での追

跡等が出来なかったことが一番の原因と考えている。

清水議員 サル群れ調査は何かしらで調査結果を伝えているのか。その結果でサル対策など周知してもらえたらと思うのだが。

農村政策課長 ホームページ等々では公表していない。

新保ファミリースキー場

宇野一正議員 スキー場の電気代はどのような契約になっているのか。またなぜ今年は運営できなかったのか。

農村政策課長 通年通して100ボルトの契約。リフトの動力は別で契約している。今年はそのままで雪がなかったのでリフトを稼

第三セクター、町営施設、文化交流

岡村議員 池田屋のホームページ作成委託料とあるが、役場の業務として運営するのかが。

副町長 歴史的に池田屋のホームページは役場が作り指定管理者に渡していた経過がある。できたあとの情報の更新は指定管理者の業務の1つとなる。

宇野一正議員 海洋センターのトイレが和式で障害者の人は使いにくいと思うのだが洋式にならないのか。
教育委員会事務局長 男女ともに和式のため、対応を考えた。

宇野一正議員 8月11日に行われる葉月新能の演目はどういう風にして決めているのか。

教育委員会事務局長 演目については新能に合うものを、演者から提案をいただいている。

社会教育費

佐野議員 花いっぱい運動が30万円減額、民踊保存会が13万5000円減額となっているが申請が減っていると考えていいのかが。

教育委員会事務局長 花いっぱい運動の実績は令和4年度14地区で助成額22万円。令和5年度は9地区で19万1500円の助成となり減少傾向である。

意見◇佐野議員 民踊保存会についても補助の申請が提出されなかったことは、高齢化が進み組織として維持が困難な状況で文化活動が続かないとなると、補助金や、支援のありかたも考える必要があると思う。

道のオアシスフォーシーズンテラス

清水議員 フォーシーズンテラスのトイレが24時間使用可能となっているがど

働しての運営はしていない。
岡村議員 今シーズンは稼働なしだが、1000万円の支出がある。稼働する前提で準備すると1000万円ほどかかるということなのか。

農村政策課長 期間中の運営委託、圧雪車の点検・修繕。またスキー場としてリフトは動かさなかったが、ソリ遊びのために駐車場の除雪を行う必要がある。また昨年度はレンタルスキーの更新をした。そのような部分でかかる費用がある。

佐野議員 新保ファミリースキー場は、まちアップに指定管理を任せられないのか。

副町長 まちアップに安全管理統括官がいなかったためできない。

森林事業・木材加工

岡村議員 県の林業政策でも間伐から皆伐、無花粉

杉への植替え事業に転換している。丹南市町と比べ池田町は補助メニューが少なく、結果的に山主への還元が少ないと伺っている。今後新しい事業に対して他の市町と乖離ない補助を検討していただきたい。

木望の森づくり課長 越前福井森林組合4支所の中でも補助メニューが少ないことは理解している。町としては、将来にわたって公益的に使えるもの、山主に還元できるものと考え、壊れにくい道づくりを重点的に検討している。



▲壊れにくい作業路

宇野一正議員 庁舎建設の町産材の木材は、柱で使うのか集成材で使うのか。

町土整備課長 梁は集成材、柱は合わせ柱などに加

の箇所のトイレか。

農村政策課長 センターハウスのトイレです。

白粟線、稲荷水海トンネル工事

佐野議員 持越から白粟に入る旧国道はいつ頃開通予定か。

町土整備課長 9月中旬に接続できる予定。
清水議員 除雪する費用を考えると大きなコストになるので、今後白粟に入る旧国道はどこまで除雪するのか。



▲工事中の白粟地区への旧道

町土整備課長 現段階でマイバスの路線になっており、すべて除雪をすることを想定しているが、今後の利用状況等を調べながら対応していきたいと考えている。



清水議員 稲荷水海線の道路改良事業でトンネルを掘る理由は何か。

町土整備課長 平成の初めまで進んでいた部子山開発の中止に伴い、途中まで進んでいた道路改良工事も中止となった。
地元からは全線開通の強い要望もあり、池田町としても地域交通の利便性向上や農村観光の振興のため必要な路線と捉え、地域活性化施策の一つとして対応する。

なお、水海はダム分水施設（水海川）がある重要な地区として水源地域と同様の対応が必要と位置付け、県の協力も受け整備を行っ



▲バイオマス燃料となる木材(D材)

工する。できるだけ町産材を使いたい。

佐野議員 林業費で商品デザイン等の委託料184万8000円の予算は、どこに委託しよう物を作るのか。また今までどういものができてどういう販売状況なのか。全体的に見えにくい。

副町長 昨まではウッドラボの商品開発に向けた企画力研修を中心に行った。図書館の木製本棚を開発し、今年度は商品企画や外注ができるシステムづくりの費用を計上。全体的に見えにくいという指摘に対して、ウッドラボのホームページ等で分かりやすく整理したい。

ていく計画である。

簡易水道特別会計

清水議員 上下水の新規接続時の加入金はいくらか。また、町営施設を新設した場合も支払う必要があるのか。

町土整備課長 公営公共施設であっても加入金は必要。水道は口径によって変わる。工事費は本管からの距離により変わる。

給水管の加入金	
13mm	16万円
20mm	20万7千円
25mm	23万8千円

下水道の加入金	
32万円	





岡村 祐 議員

森林環境譲与税の近年及び令和6年度の用途について

令和6年度から森林環境税が国税として住民税均等割を用いて国民全員に賦課される。徴収された森林環境税は森林環境譲与税となり自治体の森林整備事業財源として各自治体に振り分けられる。すでに森林環境譲与税は令和1年度より運用され、池田町においても森林関連の事業に充当されている。

また、森林環境税の賦課徴収がはじまり、その用途への関心が高まっている。池田町の山林保全のためだけでなく、山林所有者や林業従事者の施業意欲向上につながる事業の提案、集落や農地・

道路等の生活環境下における環境の改善整備など、町民全体に還元されることとが期待される。池田町における、この近年および令和6年度の森林環境譲与税を活用した主な事業について説明を求める。

●木望の森づくり課長

令和2年度より、美しくたくましい森づくり、森の恵み・木の資源を活かす社会づくり、木の機能を活かす社会づくりのための事業に活用している。

●森林整備として

- 効率的再造林及び広葉樹林化・間伐複層林化に向けた技術研究
- 壊れ難い道づくりの技術研究
- 奥地優良木の搬出研究
- 林道・作業道の修繕や改良等の補助、支障木の除去および景観整備事業

●人材育成・担い手確保として

林業先進地での学びや、

今後の農業の推進方針は

池田町全体の稲作技術の向上や経営向上に向けた育成方針をどのように考えているのか。また、担い手の会にはどのような会があり、どのような活動をされているのか。

●農村政策課長

池田町での農業の基幹は米づくりと考えている。中でも、「生命にやさしい米づくり」は地域資源を最大に活用し、生産者、消費者、そこに生息する生き物への安全を目指すとともに、足羽川源流のまちの責任を果たす取り組みとして、また生産されるお米だけでなく、池田町全体の取り組みとして消費者の評価を受けていると考えている。

また、町としては国が目指す「みどりの食糧戦略」も視野に入れ、「生命



富田 重弘 議員



にやさしい米づくり」の意義の再認識と基準の見直しに取り組むこととしている。

この見直しは「10年後を見据えた本気の米作り」として新たな取り組みを検討していく。

その体制として「農業政策会議」を発足させ協議を重ねていく予定である。

また、池田町の担い手の組織には、まず「有機米生産研究会」として、今の生命にやさしい米づくり活動の始まりと共に品質の高い米づくりを目指し、農家の意識向上、技術の普及など農家の育成を図ることを目的に組織されている。しかし近年では、農家自身の成長、育成活動はなおざ

講師招聘による技術取得に係る事業

●木材の利用促進として

木活・木育施設(通称:ウッドラボ)いけだでの木のおもちゃの開発や庁舎建設に係る大径材の利用研究事業

●普及啓発として

ウッドスポーツに係る情報発信に活用している

令和6年度は、脱炭素社会に向けた広葉樹の炭素吸収量調査や広葉樹を活かすための施設研究や庁舎建設に係る町産材流通システム構築のための委託に活用する事としている。



一般質問

いっばん しつもん



りとなっており、環境保全型農業直接交付金の交付や生命にやさしい米づくりの審査のみを主な活動としている。

次に「農ある田家会議」がある。この組織は、担い手、集落営農、農業公社職員が集い、技術、経営、消費者交流などを目的に発足したが、現在は目立った活動は見受けられない。

次に「合同会社いけだファーマーズ」がある。この組織は、担い手が中心となり活動する組織で、相互の作業扶助や資材の共同購入に取り組みながら、共同でWCSの収穫、堆肥散布、時には地元農家への序言を行っている。

商工会事業への支援の現状は

●新年度の町商工会への



清水 龍司 議員

結婚退職勧奨について

丸石議員より、2020年6月議会において、役場職員同士で結婚について質問が行なわれた。当時、「人事の内規として1994年から勧奨を行なってきた」と溝口副町長が答弁されており、議会日より第14号には「地方公務員法上、勧奨制度に基づいて辞めることを強制はできない、あくまでも協力を求める働き続けたいと希望した場合でも不利益な扱い

はない。退職勧奨はするが働き続けることは可能である」と書かれている。退職勧奨は、地方公務員に適用されない部分もあるが、男女雇用機会均等法の違反、結婚の自由を制限することによる基本的人権侵害に当たる可能性がある。

池田町で働くことを選び、町民の生活の為に日々尽力し、これから家族を持って暮らしていくとしていらっしゃる方を人生を大きく左右する。能力がある職員を失うことは、役場と町民にとって大きな損失となる。結婚退職勧奨によってあいた職員の事は、今の職員によってまかなわなくてはならない。職員の数は少なく、仕事量は多いところに追い打ちを掛ける状態になる。そんな結婚退職勧奨を守り続けていることに疑問しかない。

現在も結婚退職勧奨を行なわれているが、2020年6月から現在まで

はいけない。「活性化」とか「むらづくり」という言葉から離れて「いい地域」「いいむら」にしようと考え、やろうと決めること。良い地域とはどんな地域なのか考える。また、集落の現状はどうなのか。地域にはどのような方が住んでいて何をしているか、10年後はどんな状況が予想されるのかなど課題や予想をもって、どのような集落になると良いのかを考える。そのイメージが目標となる。

「良い地域」づくりのために、活用できる地域の素材、資源はあるか探す。目標となる先進地域はあるのか探す。さらには視察する。「良い地域」の目標に向かっての仲間をつくり、話し合い、実践を続ける。言うは易しで実行は容易ではないが「始めなければ、始まらない」「始めなければ、行きつけない」ではないか。地域の活性化を考えるという事は、地域の沈滞化した活力を取り戻す、蘇らせる、地域の存在価値を作り出すという意味

に何人の職員に勧奨をおこなったのか。勧奨を受けても働き続けている職員はいるのか、誰が何回どれだけの時間をかけて勧奨をおこなったのか。

●副町長

勧奨退職の理由は、夫婦であることによる人事配置の制約、上司部下関係になった場合に夫婦関係の両立の難しさ、また個人情報保護や守秘義務履行という点で勧奨退職制度が現在も必要と考えている。

2020年以降の勧奨退職は一回あるが、実際に退職した事例はない。個別面談を行い本人の奉職の意思を踏まえ、その後勧奨は行なわない。

私の、再質問の中で「結婚退職勧奨を続けるのなら、炎上し役場職員が電話対応に追われるかもしれない」との言葉は誤解を招きかねない表現であり今後、気をつけたいと3月21日の全員協議会の中で陳謝しました。

だ。その中には、「経済活性化」として第1次産業をはじめとした、仕事・生業など所得づくりと共に地域内の経済循環機能の向上を図ること、「社会的活性化」として、子供会、老人会など賑わいの盛り上がりを図ることがあげられる。いずれも、過去をそのまま受け継いでいては全てが縮小していくことになる。「今あるもの」「新しいもの」の組み合わせをいかに生み出していくか、町は重要な時期を迎えていると感じる。

●実行に移すカギ・ポイントがあれば伺いたい。

●町長

地域づくりには特効薬も万能薬も無い。やはりやる、やろうと決めることだ。そして、話す、賛同者、仲間を募る、諦めず続ける。その道が無いと思いません。





丸石 純一 議員

運転免許
自主返納について

年間8〜10名自主返納をされているが、年間2万円のタクシー補助金が1回だけ、またはマイバス運賃の補助を3年間の期限つきで行うとしているが、高齢者の1人暮らしの方が増え、マイバスなど利用後、荷物を自宅まで持って帰れないという悩みを伺うことがあり、公共交通が少なくなる中、安心して暮らしていくためにも返納後の支援をしっかりとする必要はある。期限の延長については考えることができないか。

総務財政課長

現在池田町では、無料のなかま号や町内タクシー事業者の乗車料金を半額負担する、ふくたつ支援事業を行っている。新たな交通サービスについては、現在のところ具体的に考えてはいないが、県が行うライドシェアの実証実験などは注視していきたい。

総務財政課長

現在池田町では、無料のなかま号や町内タクシー事業者の乗車料金を半額負担する、ふくたつ支援事業を行っている。新たな交通サービスについては、現在のところ具体的に考えてはいないが、県が行うライドシェアの実証実験などは注視していきたい。

現在自治体ライド
シェアや、永平寺が取り
組む近所タクシーなど、
新たなドアードアの
サービスを検討していく
ことはできないか。

現在池田町では、無料のなかま号や町内タクシー事業者の乗車料金を半額負担する、ふくたつ支援事業を行っている。新たな交通サービスについては、現在のところ具体的に考えてはいないが、県が行うライドシェアの実証実験などは注視していきたい。

道のオアシスフォー
シーズンテラスについて

公募については、応募がなかったと聞けが、なぜそのような状況になったのか伺う。

このような条件においても出店希望者がなかったことについては、こつてコテ池田のマルシェでの出店など、他の場所での営業に魅力があったのではないかと、また、施設全体の指定管理ではなく、飲食ブースだけのテナント募集であったため、事業規模が小さいといったことが理由ではないかと考えている。

指定管理で行うという内容だが、当然、公募していくべきと考えるがいかがか。

2年後にまた公募を実施するの。

農村政策課長

今後のテナント募集については、現在の指定管理を4年間とした為、この期間内は指定管理者の判断において行う。

農村政策課長

応募者がいなかったため、飲食部門も含め、指定管理者である池田屋が全体を管理する。指定管理者に対しては、施設管理、清掃、物販飲食など全体に創意工夫を持って運営管理を求めめる。なお、

農村政策課長

今後のテナント募集については、現在の指定管理を4年間とした為、この期間内は指定管理者の判断において行う。



▲道のオアシス プロムナード



▲道のオアシス センターハウス

一般質問
いっぱん しつもん

他の市町の動きを
踏まえ学校給食
無償化の決断を

池田町運転免許自主返納の事業は令和7年3月までの事業としている。

教育委員会事務局長

県の調査でも県内4自治体が無償化になると把握している。全国のデータと比べて、池田町では質の高い給食であり、食材費の7割程度の保護者負担と安価に抑えている。給食費も平成4年度以降値上げしていない。町として子育て支援策、修学旅行経費の実質無料化などの支援も行っている。学校給食については、国や県の制度により無償化となるまでは、応分の負担をいただく。

教育委員会事務局長

県の調査でも県内4自治体が無償化になると把握している。全国のデータと比べて、池田町では質の高い給食であり、食材費の7割程度の保護者負担と安価に抑えている。給食費も平成4年度以降値上げしていない。町として子育て支援策、修学旅行経費の実質無料化などの支援も行っている。学校給食については、国や県の制度により無償化となるまでは、応分の負担をいただく。

空き家対策・
暮ラッセルの
取り組み強化を

暮ラッセルの体制強化も求めたい。

総務財政課長

空き家解体での国の補助活用制度は跡地の有効活用が条件となっている。平成28年の暮ラッセル創設以来58件の登録があり36件が活用されている。現在の登録は14件。不動産屋ではないので登録・斡旋だけであり売買や賃貸の契約に関する仲介事業等は行っていない。現在、空き家の実態調査を進めており、集落の主体的な取り組みと連携して対策を進めていきたい。

総務財政課長

空き家解体での国の補助活用制度は跡地の有効活用が条件となっている。平成28年の暮ラッセル創設以来58件の登録があり36件が活用されている。現在の登録は14件。不動産屋ではないので登録・斡旋だけであり売買や賃貸の契約に関する仲介事業等は行っていない。現在、空き家の実態調査を進めており、集落の主体的な取り組みと連携して対策を進めていきたい。

食料・農業・農村基本法改定案についての
町長の見解は

岸田政権は、「食料・農業・農村基本法の改正案」を閣議決定し今国会で成立させようとしている。改定案は、38%迄落ち込んだ食料自給率の向上という大事な目標を投げ捨て「安定的な輸入及び備蓄の確保を図る」と食料輸入の位置づけを強化するものとなっている。また、農民に増産を指示する「食料供給困難事態対策法案」も決めている。これは、「不測の事態」には農民にイモの作付けなどを強制する。戦時食糧法「とも言えるもの。世界的な食料不足、地球規模での食料危機の時代にあつて、国民が安心できる食料を自給率の向上によって確保することは政治が最優先で取り組むべき重大な課題。改定案は、池田町での環境にやさしい農業振興など

町長

改定案についての思いは同感の点がある。ただ、自給率向上の数値目標が大事でなく、その結果をどこに繋げていくのかが大事。そもそも、国民の中に食料・農地・農業を守るべきという国民合意があるのか、また農民にその気概があるのかを問いたい。政治家は日本農業の本当の問題はどこにあるのか真剣に考えるべき。池田町を支える農業林業を地域資源と考えた取り組みを進めるため町としての農業政策会議も考えている。

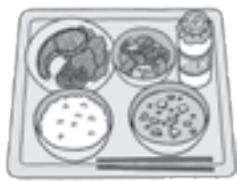


宇野 邦弘 議員

全国で無償化自治体が広がり、県内でも永平寺町・高浜町に続いて南越前町と越前町でも4月から無償になる。こうした動きを知ったうえでなぜ無償化に踏み切らないのか。以前の議会で、町長は「なんでも無償化がいいとは思わない」と答弁しているが、今に至ってもそう思うのか。

町長

無条件、無制限で無料になるというのは今でもいかがなものかと思っております。



無条件、無制限で無料になるというのは今でもいかがなものかと思っております。

町長

区長会の要望もあり空家対策案をまとめているが、様々な意見もあり公表については見合わせている。

区長会の要望もあり空家対策案をまとめているが、様々な意見もあり公表については見合わせている。

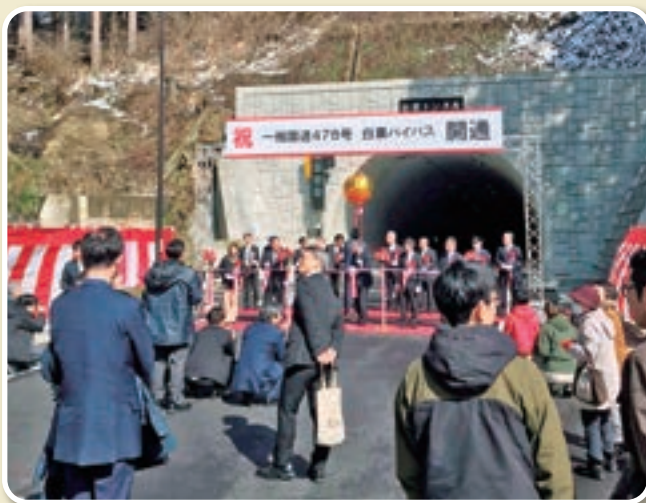


区長会の要望もあり空家対策案をまとめているが、様々な意見もあり公表については見合わせている。

ダム対策特別委員会

新板垣トンネル年内開通を!
と強く要望

▲新板垣トンネル工事状況(越前市側)



▲白栗バイパス開通式(3月3日)



▲足羽川ダム導水トンネル取水部(水海川)

■新板垣トンネル

福井県土木部河川課長からの地域振興策についての報告で、白栗バイパスの開通に続いて、新板垣トンネルは、「令和6年度には開通したい」とのことでした。

これに対して議員から「年度内というのではなく年内に少なくとも開通させてほしい。少なくとも雪が降るまでには完成、開通するよう尽力頂きたい」「年内開通を強く求めたい」と要望しました。

■導水トンネル
約8割掘削

特別委員会では足羽川ダム工事事務所所長らから、本体工事も順調に進んでいることの説明を受けました。水海川導水トンネル掘削は、全長4717mのうち3830m(81・2%)に到達したとの説明も。

議員から、「導水トンネルは軟弱地盤の破砕帯にぶつかり難工事となっているが、破砕帯はすでに乗り越えたのか」との質問。工事事務所所長らは「まだ完全に突破したとは言えないが、一番の厳しいところは乗り越えてきた」との答弁がありました。

編集後記



池田の郷も緑の色が濃くなる季節となりました。年度初めに「文字ばかりでなく写真をもっと」「委員会審議をもっと載せる」を目標に取り組んできました。少しではありますが、見やすくなったと思っておりますが、町民の皆様から見ますと、まだ満足できるものではないと思っております。

今後さらにステップアップを図れるよう努力してまいりますので、「意見・ご要望をお寄せください。」

(富田重弘)

議会広報特別委員会

委員長	宇野 邦弘
副委員長	清水 龍司
委員	岡村 祐
委員	富田 重弘
委員	丸石 純一
発行責任者	宇野 一正
議長	宇野 一正